

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営情報システム設計特論	1・2年生	選択	2単位	岸川 洋
<p>授業の到達目標及びテーマ 経営情報システムにおけるシステム開発工程全般と特にその中でも設計工程における方法論・技法を理解し、利用できるようにする。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で留意すべきことについて理解し、利用できるようにする。</p>				
<p>授業の概要 構築するシステムの特性に応じた設計法を適用することは重要である。まず、単純なシステム設計例により各種方法論・技法を理解する。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で発生する失敗について理解する。</p>				
<p>授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 ガイダンス、システム開発工程全般と設計工程 第2回 共通フレーム、各種設計技法 第3回 帰納的アプローチと演繹的アプローチ 第4回 プロセス中心アプローチ 第5回 データ中心アプローチ 第6回 オブジェクト指向アプローチ 第7回 ウォータフォール型とプロトタイプ型 第8回 単純なシステムの設計例 (マスタファイル、イベントファイル) 第9回 単純なシステムの設計例 (DFD) 第10回 プロジェクト管理 第11回 PMBOK、WBS 第12回 失敗例 (設計者に起因) 第13回 失敗例 (プロジェクトに起因) 第14回 失敗例 (ステークホルダーに起因) 第15回 まとめ 第16回 定期試験等 				
<p>履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習)</p> <p>事前学習：次回の授業内容について調べ、疑問点について整理する。(授業計画の欄を参照) (1~2時間程度)</p> <p>事後学習：毎回の課題であるキーワードについて、説明できるようにする。(1~2時間程度)</p>				
<p>テキスト</p> <p>布広 永示他, 「システム設計論 (改訂版)」, コロナ社, 2017年9月</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料等</p> <p>木暮 仁, 「利用部門のための情報システム設計論」, 日科技連, 2007年10月</p>				
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>毎回の授業での取組み状況及び課題の提出状況で総合的に評価する。</p>				